

## 環境にやさしい工夫：屋外照明



屋外の照明器具は、必要以上に明るくするためしそうにしたり、動物・植物の生育にえいきょうを与えたたり、また星の観測がしにくくなったりするので、そのようにならない形の器具をえらびました。

また、太陽の光をうけて発電し、その電気をためておいて、夜に照明として点灯するしくみとなっているものもあります。

もどる

## 環境にやさしい工夫：昼光センサー・人感センサー



昼光センサーとは室内的明るさを感じ、暗くなると自動的に人工照明を点灯させるように信号を出します。自然の光が得られるときは、自然光を最大限に生かすための工夫です。



また、人感センサーは、人がいるのを感じて人が使うときに自動的に人工照明を点灯させるように信号を出します。人がいなくなるとまた自動的に消灯します。

両方とも、必要なときだけ人工照明を点灯させることで、照明用の電気の使用量を減らすことができます。

## 環境にやさしい工夫：太陽熱温水利用



屋上に設置した温水パネルに太陽熱を集め、出来た温水をタンクに集め館内の給湯に利用しています。



もどる

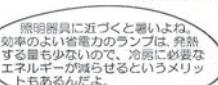
## 環境にやさしい工夫：高効率照明器具

照明器具はできるだけ消費する電力量の少なくして、明るさの得られる効率のよいもの(HF型蛍光灯、コンパクト型蛍光灯など)を使っています。

これらはランプの寿命が長いことも特長です。ランプ交換の回数が減り、建物の管理がしやすくなります。



もどる



## 環境にやさしい工夫：ライトシェルフ



ライトシェルフとは光の棚、つまり光が反射しやすい棚を窓面に設け、射し込む太陽光を建物内部のより奥深くまでみちびくための工夫です。



もどる

## 環境にやさしい工夫：氷蓄熱システム

夜の間に、次の日の屋間に必要な冷房・暖房用の熱をつくって貯めておき、屋間にその熱を使って冷房・暖房をするシステムです。

屋間いっぺんにみんなが電気を使うと、発電所や建物内の電気設備がパンクしてしまうので、それを防ぐことができるのです。



もどる

氷の蓄熱システムは、蓄熱と比べて小さいスペースで大きな熱を貯めることができます。